



深谷市長 新井家光

に、情報を伝えてくれる優しい郵便屋さんの顔も持っています。しかし、反面、自分が望まなくとも、風はどこからともなく吹いてくるもので、無意識のうちに、いろいろな情報が耳に届きます。

そうした中、今吹いている「風」といえば、急速に家庭や職場に浸透したIT（情報通信技術）ではないでしょうか。ITは、日常生活に欠かせないものとなっていますが、その一方で、サービスや情報を利用できる方とできない方に生じる格差や、個人情報の保護をはじめセキュリティーの問題が生じてきております。私は、市民サービスの向上や効率的で高度な行政運営を実現するためには、この

薫る風の季節に

薫風が若草を吹き渡り、緑の風を運んできます。薫る風に乗って子どもたちの楽しそうな声が聞こえると、実に爽快な気分になります。風には「風の便り」などの言葉があるように、

ような状況を踏まえた上で、地域情報化施策に取り組んでまいることが重要と考えております。そこで、本市では、ITを活用し、市民サービスの向上や効率的で高度な行政運営の実現に向けて、市民・企業・行政などが互いに協力して地域情報化の推進に取り組むために「深谷市地域情報化計画」を本年2月に策定いたしました。この計画では、例えば、インターネットを通じた公共施設の空き照会・予約申し込みシステムの構築や、パソコン・インターネット講習会の開催など情報格差の是正策なども盛り込んでおります。

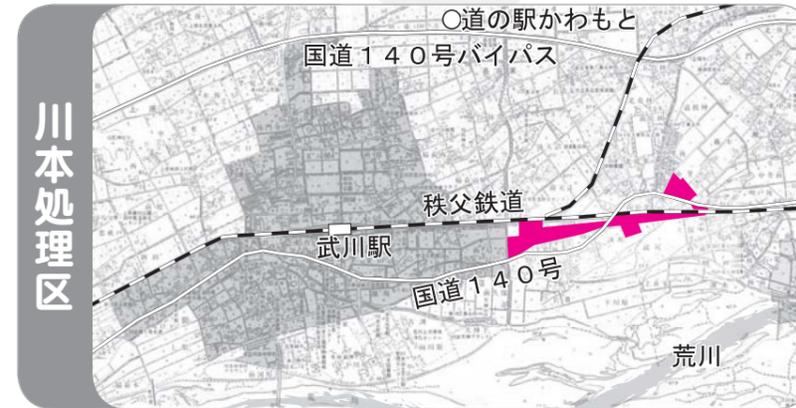
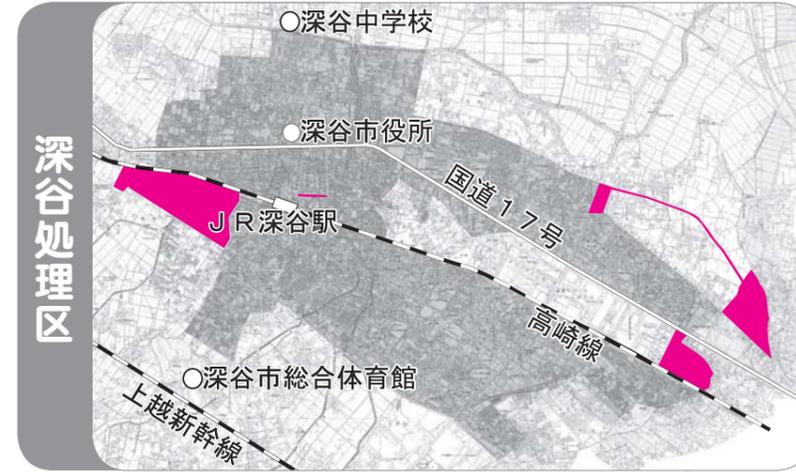
急激に発展したIT社会は、ともすればご高齢の皆様には「北風」として吹いているかもしれない。あるいはご興味を持たず「無風」であるかもしれません。

本市ではその風を少しでも暖かく「薫る風」にするよう環境を整備してまいります。情報はそれがどんなに素晴らしいものでも、お伝えできなければ意味がありません。ですから、そこに格差があつては、これからの行政は成り立ちえないのです。

薫風のみなもとの樟大樹なり 福永耕二

公共下水道整備4か年計画

市では、平成20年度～平成23年度までの「公共下水道整備4か年計画」を策定しました。この計画では、汚水整備について各処理区ごとの現状を把握し、地図中に赤色で示した計画区域を市の財政状況などを踏まえながら、順次整備することとしています。



平成20年度からの整備区域

- 深谷処理区 79ha (東方、上野台、萱場、見晴町、宿根の一部)
- 岡部処理区 10ha (岡、普濟寺の一部)
- 川本処理区 4ha (菅沼、長在家、瀬山、明戸の一部)
- 花園処理区 20ha (黒田、荒川、小前田の一部)

雨水整備については、深谷排水区（東方、国済寺土地区画整理区域内）、岡部排水区（普濟寺）、川本排水区（田中）で行います。花園排水区については、雨水計画を見直し、事業認可申請を行う予定です。

公共下水道整備に向けた今後の予定

公共下水道の整備に当たり、整備予定地域の皆さんには受益者負担金や、宅地内に設置する「公共ます」の設置協議をお願いすることになります。また、道路への下水道管理設工事や、整備完了後の宅地内排水接続工事などの協力についてもお願いすることになります。

こうした、協力のお願いにつきましては、実際に工事に着手する年度に開催される地元説明会において、ご説明させていただきます。

なお、小前田地区の一部につきましては、都市計画法の手続きを行う必要がありますことから、こうした地元説明会とは別に説明会を開催する予定です。

【問い合わせ】 下水道課 (☎ 572 - 8633) へ

凡例	
	整備済み区域
	4か年計画区域

【問い合わせ】 情報システム課 (☎ 574 - 8563) へ

今後取り組む事務や事業の例

- ・公園案内提供システムの導入
- ・コミュニティバス利用案内の提供
- ・道路工事箇所情報の提供
- ・災害時の避難場所情報の提供
- ・観光案内提供システムの導入
- ・(仮称) 深谷市ポランティアネットの構築
- ・公共施設予約システムの導入
- ・電子入札システムの導入

具体的には？

この地域情報化計画では、次に掲げる8件を含む62件に及ぶ事務や事業が予定されています。

目標は？

「市民のための情報化・市民との協働による情報化」を基本として①行政サービスの高度化による利便性の向上、②行政の簡素化・効率化、③地域の課題解決の3つの目標に向かい、市民、企業、行政などが互いに協力し、それぞれの立場で地域情報化の推進に取り組んでいきます。

目的は？

市民の皆さんをはじめ、企業や各種団体などと協働するまちづくりの実現と、行政内部の効率化です。

「深谷市地域情報化計画」ってなに？

「沈黙考」ワンポイント解説